

エイジングとともに 気をつけたい病気シリーズ

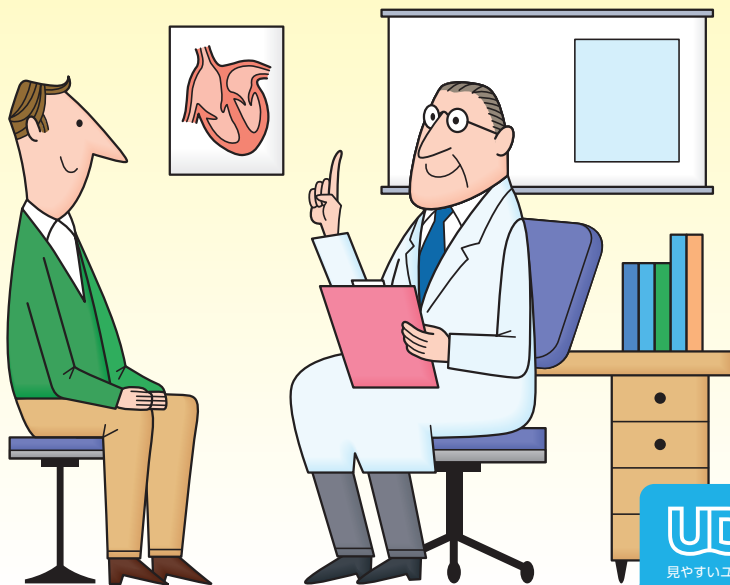
Vol.1

血友病患者さんのための

疑問解決!

脳心血管疾患 ハンドブック

監修 荻窪病院 理事長 花房 秀次 先生 東京医科大学病院 循環器内科 教授 畠山 博史 先生



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



武田薬品工業株式会社

2023年5月作成



Contents

- 血友病と脳心血管疾患は関係がある？—————4
- 脳心血管疾患の原因① 高血圧について教えてください——5
- 脳心血管疾患の原因② 脂質異常症について教えてください—6
- 脳心血管疾患の原因③ 動脈硬化について教えてください——7
- 血友病患者さんと脳心血管疾患①
虚血性心疾患について教えてください—————8
- 血友病患者さんと脳心血管疾患②
脳血管障害について教えてください—————9
- 脳心血管疾患予防のためにできることは？—————10
- 脳心血管疾患ではどんな治療をするの？—————11

病院での検査時に 「血圧が少し高め」といわれました

いろいろな情報があって、何が正しいのかよくわからないなあ。

そもそも、体調が悪いわけでもないし、
本当にそんなことを考えなきゃいけないの…？

疑
？

血友病患者では、
脳梗塞や心筋梗塞は少ない…？

嘘
？

脳出血は、起こりやすい…？

血友病患者は、高血圧が多い…？

本当
？

血友病患者は、
心疾患にはならない…？

それでは
血友病患者さんと
脳心血管疾患について
みていきましょう

次
ペー
ジ
へ
▶

Q.1

血友病と脳心血管疾患は関係がある？

脳心血管疾患とは、心筋梗塞、狭心症、脳出血、脳梗塞といった、心臓、心・脳血管など循環器の病気のことで、高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙、肥満などが原因で発症します。これらの病気は、とくに症状がみられずに進行して、心筋梗塞などの症状が現れたときには入院治療や、発見が遅れた場合は死に至ることもあります。

血友病患者さんでは脳出血の発症は比較的多い一方、凝固障害であるため血栓症が少ない可能性があり、最近まで脳心血管疾患自体多くはないと考えられてきました。

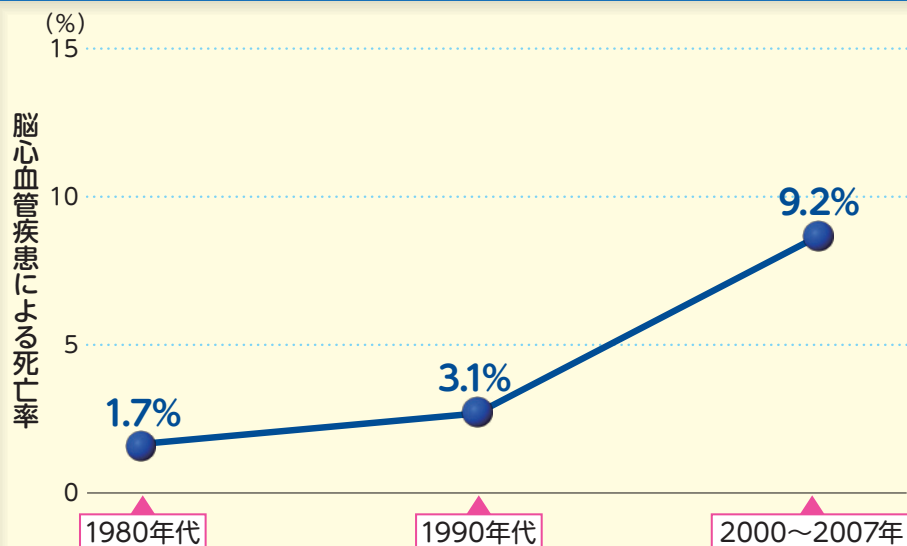
しかし近年、治療薬の発達により血友病患者さんの平均寿命が高くなっており、血友病患者さんも一般成人と変わらず脳心血管疾患を発症するリスクをもっていることがわかってきました^{1,2)}。また、そのリスクも年々増加傾向にあると報告されています³⁾。

1) Lim MY, et al. Blood Coagul Fibrinolysis 2011; 22(5): 402-406.

2) Biere-Rafi S, et al. Thromb Haemost 2011; 105(2): 274-278.

3) Tagliaferri A, et al. Haemophilia 2010; 16(3): 437-446.

血友病患者さんの全死因における脳心血管疾患による死亡の割合(海外データ)

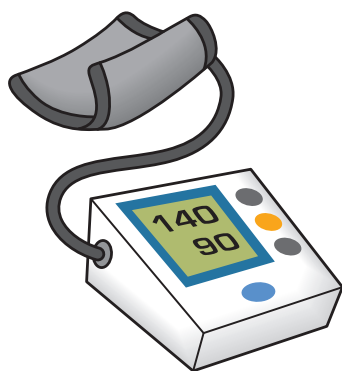


Tagliaferri A, et al. Haemophilia 2010; 16(3): 437-446.より作図

Q.2

脳心血管疾患の原因① 高血圧について教えてください

脳心血管疾患の大きな原因の一つとして高血圧があります。血友病患者さんでは、この高血圧の有病率が一般成人と比べて高いことが知られており^{1、2)}、とくに重症血友病患者さんで多くみられます²⁾。高血圧の基準値は、高い方の血圧(収縮期血圧)140mmHg以上、低い方の血圧(拡張期血圧)90mmHg以上です(診察室での血圧値)。

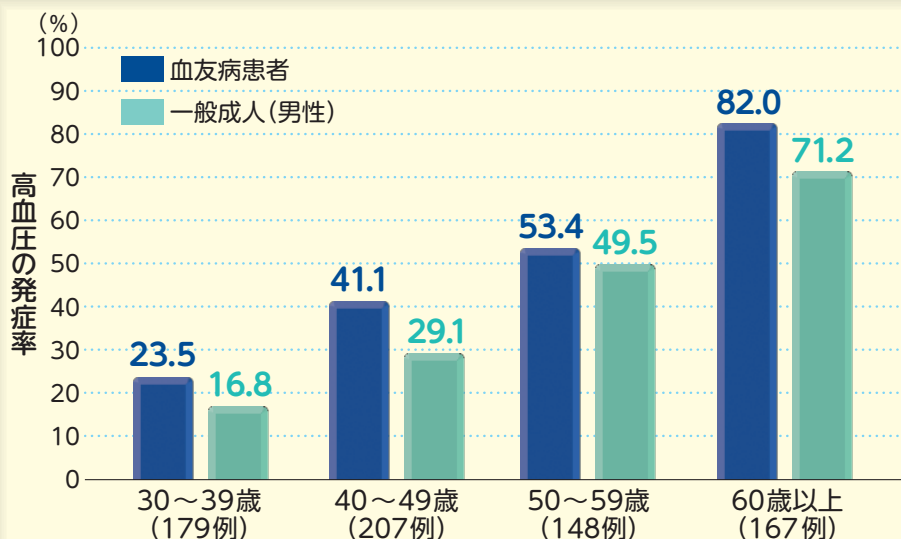


高血圧の明確な原因は不明ですが、一般的には年齢とともに高血圧になる傾向がみられ、これは血友病患者さんでも同様です。さらに、血圧値が高いほど脳卒中や心筋梗塞などの脳心血管疾患になりやすいことがわかっています。

1) von Drygalski A, et al. Hypertension 2013; 62(1): 209-215.

2) Fransen van de Putte DE, et al. Thromb Haemost 2012; 108(4): 750-755.

血友病患者さんの高血圧の頻度(海外データ)



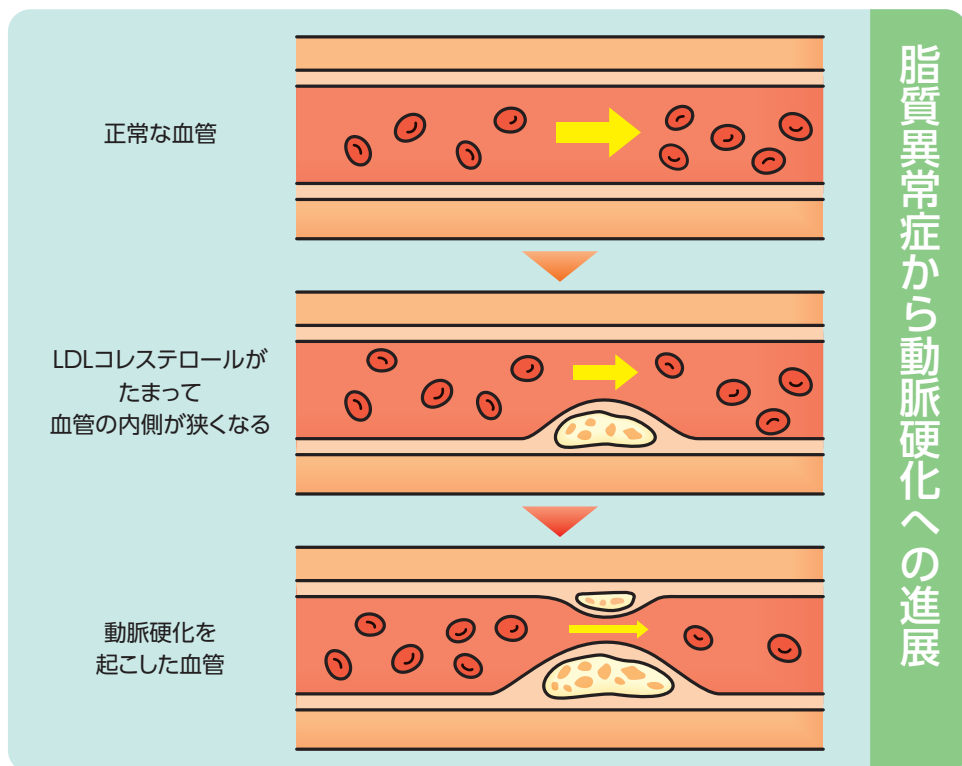
Fransen van de Putte DE, et al. Thromb Haemost 2012; 108(4): 750-755.

血液中の脂質、つまりLDLコレステロールや中性脂肪(トリグリセリド)が多い状態を脂質異常症といいます。血液がドロドロになる、と表現されることもあります。

脂質異常症も高血圧と同様に、とくに症状はありませんが、脂質が血管内にたまることで動脈硬化となり、心筋梗塞や脳梗塞につながります。

動脈硬化の発生については、血友病患者さんと一般成人とで差はないとの報告がありますので¹⁾、動脈硬化防止のためにも中年期になったらLDLコレステロール値には気をつけるようにしましょう。

1) Biere-Rafi S, et al. J Thromb Haemost 2012; 10(1): 30-37.



高血圧、脂質異常症などの要因や加齢によって血管が厚くなり、硬くもろくなったり、血管の内側が狭くなったりした状態を動脈硬化といいます。

動脈硬化が進行すると、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）、脳血管障害（脳出血、脳梗塞）といった脳心血管疾患を引き起こします。とくに脳出血は血友病患者さんにとって命に関わる状態になることもあります。

動脈硬化の発症や進行については、血友病患者さんと一般成人では差がないといわれていますので^{1～3)}、できるだけ早めに動脈硬化の原因となる高血圧や脂質異常症などを予防していくことが大切です。

1) Zwiers M, et al. J Thromb Haemost 2012; 10(1): 23-29.

2) Tuinburg A, et al. Arterioscler Thromb Vasc Biol 2012; 32(3): 799-804.

3) Biere-Rafi S, et al. J Thromb Haemost.2012; 10(1): 30-37.



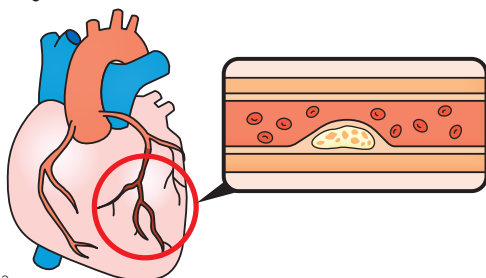
4) Mauser-Bunschoten EP, et al. Haemophilia 2009; 15(4): 853-863.

5) Sharathkumar AA, et al. Haemophilia 2011; 17(4): 597-604.

虚血性心疾患には、心臓を動かす筋肉に血液を送る血管(冠動脈)が狭くなる「狭心症」、冠動脈が血栓などによって詰まってしまう「心筋梗塞」があります。

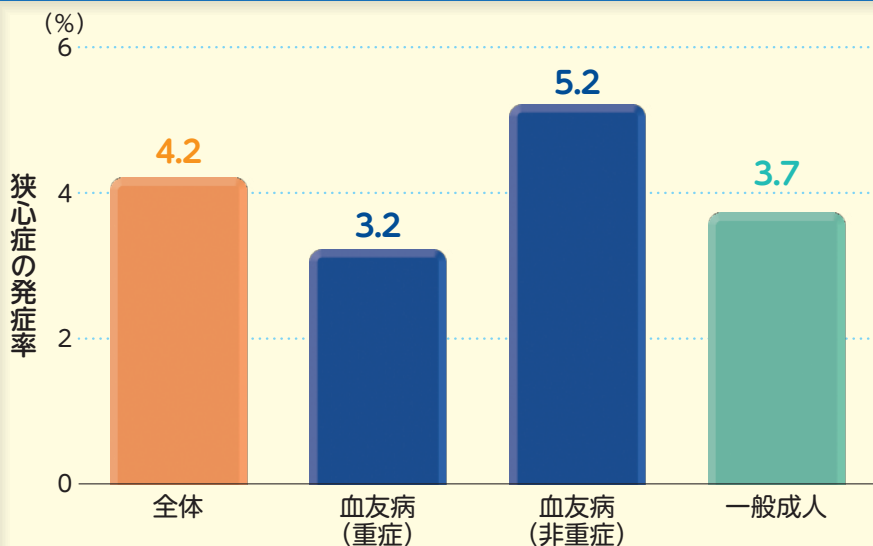
心筋梗塞については血液の凝固も関連することから、一般成人と比較して血友病患者さんでは少ないと考えられており、とくに重症血友病患者さんでの発症が少ないとの報告がありますが¹⁾、狭心症については一般成人と同じように発症することがわかっています^{1,2)}。

近年では、血友病患者さんの虚血性心疾患の発症は増加の傾向にあるため、原因となる疾患を予防していくことが大切です。



1) Fransen van de Putte DE, et al. Thromb Res 2012; 130(2): 157-162.
2) Fransen van de Putte DE, et al. Eur J Haematol 2012; 89(4): 336-339.

血友病患者さんと一般成人の狭心症発症率の比較(海外データ)



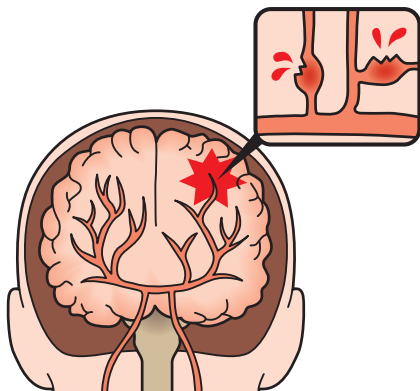
Q.6

血友病患者さんと脳心血管疾患② 脳血管障害について教えてください

動脈硬化などが原因で、脳の血管が詰まってしまうことを「脳梗塞」、脳の血管が破れてしまうことを「脳出血」といいます。

血友病患者さんでは、脳梗塞は比較的少ないと考えられていますが、軽症の血友病患者さんの場合、発症の可能性がないわけではありません。

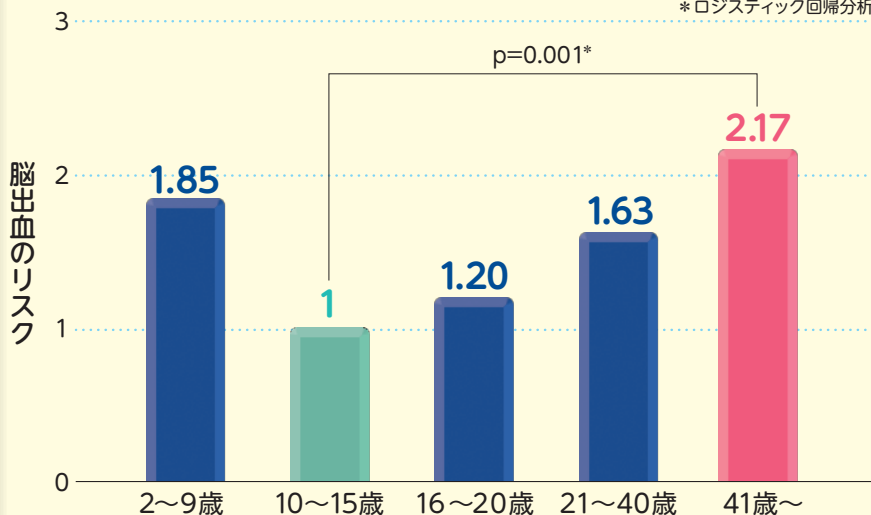
脳出血は一般成人と比較して中高年の血友病患者さんで多い傾向にあります¹⁾。こうした血友病患者さんの脳出血については、10代前半と比較して40歳代では2倍以上のリスクがあるとされていますが、定期補充療法を行うことで発症を抑えることができると報告されています²⁾。



1) Fransen van de Putte DE, et al. Eur J Haematol 2012; 89(4): 336-339.
2) Witmer C, et al. Br J Haematol 2011; 152(2): 211-216.

血友病患者さんの年齢別の脳出血リスク(海外データ)

*ロジスティック回帰分析



それぞれ10～15歳を1とした場合の数値。41歳以上では10～15歳に比べて2.17倍のリスクがあるということになります。

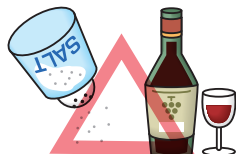
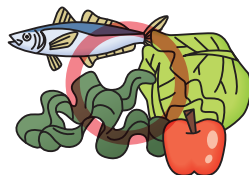
Witmer C, et al. Br J Haematol 2011; 152(2): 211-216.より作図

血友病患者さんも、一般成人と同様に40歳を過ぎたところから、脳心血管疾患の原因となる生活習慣病に注意を払うことが大切です。脳心血管疾患の予防のためには、食生活や運動といった生活習慣の改善が重要になります。しかし血友病患者さんの場合、関節症により十分な運動ができないことも考えられますので、担当医やリハビリ担当の理学療法士の先生とも相談のうえ、定期補充療法で出血を予防したり、関節に負担の少ない運動をするなど、出血には十分注意しながら無理のない範囲で行うようにしましょう。

血圧値やコレステロール値の検査結果で気になることがあったら、ぜひ担当医に相談してみてください。

脳心血管疾患予防のための生活習慣の改善

- 1 減塩：6g/日未満
食塩を多く含む食品に注意し、摂取を控えましょう
- 2a 野菜・果物：野菜・果物の積極的摂取*
未精製穀物、海藻などの摂取も増やしましょう
- 2b 脂質：コレステロールや飽和脂肪酸の摂取を控える。魚(魚油)の積極的摂取
肉の脂身、乳製品、卵黄などの摂取を控え、魚や大豆製品の摂取を増やすようにしましょう
- 3 減量：BMI(体重(kg)÷[身長(m)]²)が25未満
過食を控え、標準体重を維持するよう心がけましょう
- 4 運動：心血管病のない高血圧患者が対象で、有酸素運動を中心に定期的に(毎日30分以上を目標に)運動を行う
運動の可否にあたっては担当医と相談してください。また、運動を行う際には、出血には十分注意して、無理のない範囲で行うようにしましょう
- 5 節酒：エタノールで男性20～30mL/日以下、女性10～20mL/日以下
アルコールの過剰摂取は控えるようにしましょう
- 6 禁煙：(受動喫煙の防止も含む)
喫煙歴の長い方は禁煙外来なども考慮しましょう



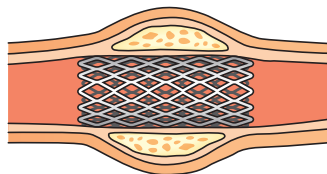
* 重篤な腎疾患を伴う患者では高K血症をきたすリスクがあるので、野菜・果物の積極的摂取は推奨しない。糖分の多い果物の過剰な摂取は、とくに肥満者や糖尿病などのカロリー制限が必要な患者では勧められない。

Q.8

脳心血管疾患ではどんな治療をするの？

高血圧、脂質異常症では生活習慣の改善を行い、必要に応じてお薬による治療を行います。血友病患者さんであっても特別な治療が必要になるわけではありません。

脳心血管疾患になると、ステントやコイルを使用したカテーテル治療や外科手術が必要になることもあります。ステントを使用する場合には、血液を固まりにくくするお薬を服用し続けることになりますので、血友病患者さんでは十分な注意が必要です^{注)}。また、その他の外科手術においても、血液を固まりにくくするお薬の使用などによって、血友病患者さんでは出血の頻度やリスクが非常に高くなります。そのため、血友病の治療に加えて、日ごろから高血圧や脂質異常症といった脳心血管疾患につながる病気を予防することが大切です。



注) 狭くなった血管を広げるために、血管内に入れる網目のような金属製の筒をステントといいます。ステントには、血管が再度狭くならないようお薬が塗布された「薬剤溶出性ステント」と、お薬の塗布がない「ベアメタルステント」があります。血友病患者さんでは、より長期にわたって血液を固まりにくくするお薬の服用が必要となり、出血のリスクが高い薬剤溶出性ステントよりも、ベアメタルステントの使用が勧められています。

年齢とともに脳心血管疾患のリスクは高くなりますので、健康診断などで身体の状態を把握しましょう。気になることがみつかった場合には担当医と相談のうえできるだけ早めの対処を心がけましょう。

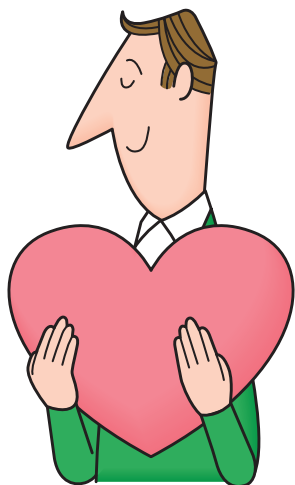


ウェブサイト「ヘモフィリアステーション」は、血友病患者さんのライフステージごとに役立つ情報をご紹介します。ぜひご活用ください。

<https://www.hemophilia-st.jp/>

🔍 ヘモフィリアステーション

検索



ヘモフィリアステーション

ウェブサイト「ヘモフィリアステーション」は、血友病患者さんに役立つ情報をご紹介します。是非ご活用ください。

<https://www.hemophilia-st.jp/>

🔍 ヘモフィリアステーション

検索

医療機関名